

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年2月5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」金沢ベイエリア校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個室が3室と広いフロアがあり、児童の特性に合わせて使用している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		児童一人に対して1対1でその子の特性に合わせて対応している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		掲示物は児童の刺激にならないように配慮している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々、清掃整理整頓し、1時間ごとの消毒、換気を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期ミーティングで話し合いをしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		実施し、業務改善につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内で内容を確認し、話し合い、結果をホームページで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は現在行っていないが、検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間通して発達支援研究所の研修を受け、事例検討会も行っている。また、外部研修にも参加している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様との面談の中でアセスメントシートを作成し、一人一人の特性に合わせて計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		「きらり」で統一されたアセスメントシートを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童に必要な内容を選択し、支援計画を作成している。また、その上で療育プログラムを作成し、支援を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って療育プログラムを作成し、支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児発管と担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続した方がよい場合は継続し、成長や興味などに合わせて変えている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		ふだんは個別療育だが、月1回行っている小集団のきらりひろばで集団活動を経験している。計画にその旨記載されている児童もいる。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼やその日の記録で確認している。	

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々記録を行い、支援の検証、改善につなげている。	
	⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童の発達や通園先、保護者様のことが分かる児発管が参加している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センター、地域支援室等、必要に応じて情報共有を行っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者なし	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者なし	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有を行っている	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有を行っている	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		情報共有を行っており、研修にも参加している。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	個別療育のため特にそのような機会は作っていない。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		必要に応じて参加を検討する。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様と支援後に話をし、共通理解を持っている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		本格的なペアレントトレーニングは行っていないが、相談支	

				援は行っている。今後、そういった保護者支援も取り入れていく。		
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明を行っている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者様と相談の上支援計画を作成している。また、支援内容についてご説明し同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の支援の際やモニタリングの時に相談を受けることがあり、その都度相談支援として応じている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在行っていないが、きらりひろばでの交流はある。今後、ママカフェ等の開催も考えていきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速に対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月2回ブログを更新している。また、LINEで情報発信をしている。きらりひろばや防災訓練は掲示でもお知らせしている。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			鍵のかかる書庫で管理している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			それぞれの特性に合わせた配慮を行っている。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	○			地域の方が参加できるイベントは現在おこなっていないが、きらりひろばに問い合わせが

					あった方には参加いただいている。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		それぞれマニュアルがあり、訓練を行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、訓練を行っており、年2回は児童、保護者様参加で行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシート等で確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	支援中に食べ物を提供していない。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例を作成して共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		1年に1回研修に参加し、事業所内でも研修を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		現在、身体拘束を行う児童はいないが、重要事項説明書に記載されており、必要な場合は了承を得て支援計画に記載することになっている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年2月5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」金沢ベイエリア校 保護者等数（児童数）：8（9）回収数：5 割合：62.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				いくつも部屋があるので、スペースは十分だと思う。	ありがとうございます。活動や特性に合わせて個室やフロアで支援を行っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5				適切な人数である。	1対1で支援できる人数で、資格を持った職員が支援を行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2			毎回、必要なもののみ出しているのですが、他のおもちゃに気を取られることなく集中できる環境。	情報過多になると落ち着いて活動がむずかしい特性をお持ちの方もいらっしゃいますので、個別に対応させていただきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				アルコール消毒や換気を徹底しているため安心して通うことができる。	ありがとうございます。消毒と換気は1時間ごとに行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5				毎回、少しずつ新しい内容が組み込ま	継続した方がよいものと変化をつけた方がよいものが

							れ、飽きずに楽しむことができている。	あります。保護者様からの意向も伺いながら活動内容を考えていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	2		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	1	1	ペアレントトレーニングをしたい。	現在、本格的なペアレントトレーニングは行っていませんが、今後、そういった保護者支援も行っていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1			フィードバックの時間に教えてもらったことを家庭でもできることを一緒にしている。	「きらり」でしていることをご家庭でもできることは取り入れていただけたらと思います。またご相談下さい。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5				悩んでいた時に親身に相談にのってもらった。	保護者支援としてこれからも相談できる時間をできるだけ作っていきます。お困りごとがございましたら、お声掛け下さい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	1	1	ご家族の方々には仕事等でお忙しいとは思いますが、親たちの悩みを共有できる場があるとよい。	現在、ママカフェ等は行っていませんが、保護者様の人数が集まれば今後、開催していと考えています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5				相談がある時にはすぐに対応してもらっている。	「きらり」内のご相談も受けていますが、保育園や地域支援室等との

								連携もさせていただいています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5				ホームページで他県に住んでいる家族とも情報共有ができるので助かっている。	ブログを定期的に更新しています。更新の際にはLINEでもお知らせしますので、ぜひご覧ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			1	教室内の分かりやすい場所に貼り紙で周知されている。	教室内に掲示をしております。一緒に参加していただく場合もありますので、ご協力をお願いいたします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5				優しい先生方と会えるのを毎回とても楽しみにしています。	ありがとうございます。楽しみに通っていただけることが嬉しいです。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5				発達に合わせた遊びを提供して下さり、興味の幅も増え、満足している。	ありがとうございます。これからもよい支援を提供できるようにしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。